

1 調査名称：山形市都市計画道路見直し業務委託

2 調査主体：山形市

3 調査圏域：山形市域

4 調査期間：平成26年度（平成28年度までの4箇年）

5 調査概要：

本調査は、見直し検討の全体方針の設定、都市計画道路が担う役割や状況の整理、現状及び将来交通動向把握の結果など「平成25年度山形市都市計画道路見直し業務委託」の業務内容に基づき、市内道路ネットワークの課題整理、ネットワーク整備の基本方針の検討、将来交通量予測、骨格道路網計画の検討等を行うものである。

I 調査概要

1 調査名 山形市都市計画道路見直し業務委託

2 報告書目次

1. 業務概要

- 1.1 業務の目的
- 1.2 業務対象範囲
- 1.3 業務のフローチャート

2. 市内道路ネットワークの課題整理

- 2.1 現状の骨格道路の位置づけ
- 2.2 交通量推計
- 2.3 現状及び将来交通動向把握結果に基づく課題整理

3. ネットワーク整備の基本方針の検討

- 3.1 ネットワーク整備の基本方針
- 3.2 骨格道路の区分

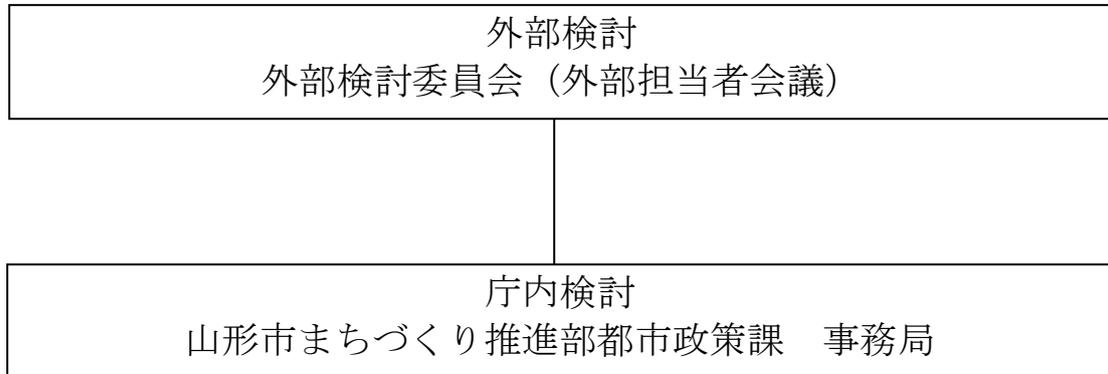
4. 骨格道路網計画の検討

- 4.1 必要十分な骨格道路網の検討及び代替路の確認
- 4.2 骨格道路の変更案
- 4.3 変更案の周辺道路への影響度の確認
- 4.4 骨格道路網計画（案）の作成

5. 庁内及び庁外検討会議資料作成・運営補助

- 5.1 庁内及び庁外検討会議資料作成

3 調査体制



4 委員会名簿等：

庁内検討会議
総務部防災対策課
企画調整部企画調整課
商工観光部商工課
まちづくり推進部河川道路整備課
まちづくり推進部道路維持課
まちづくり推進部都市政策課

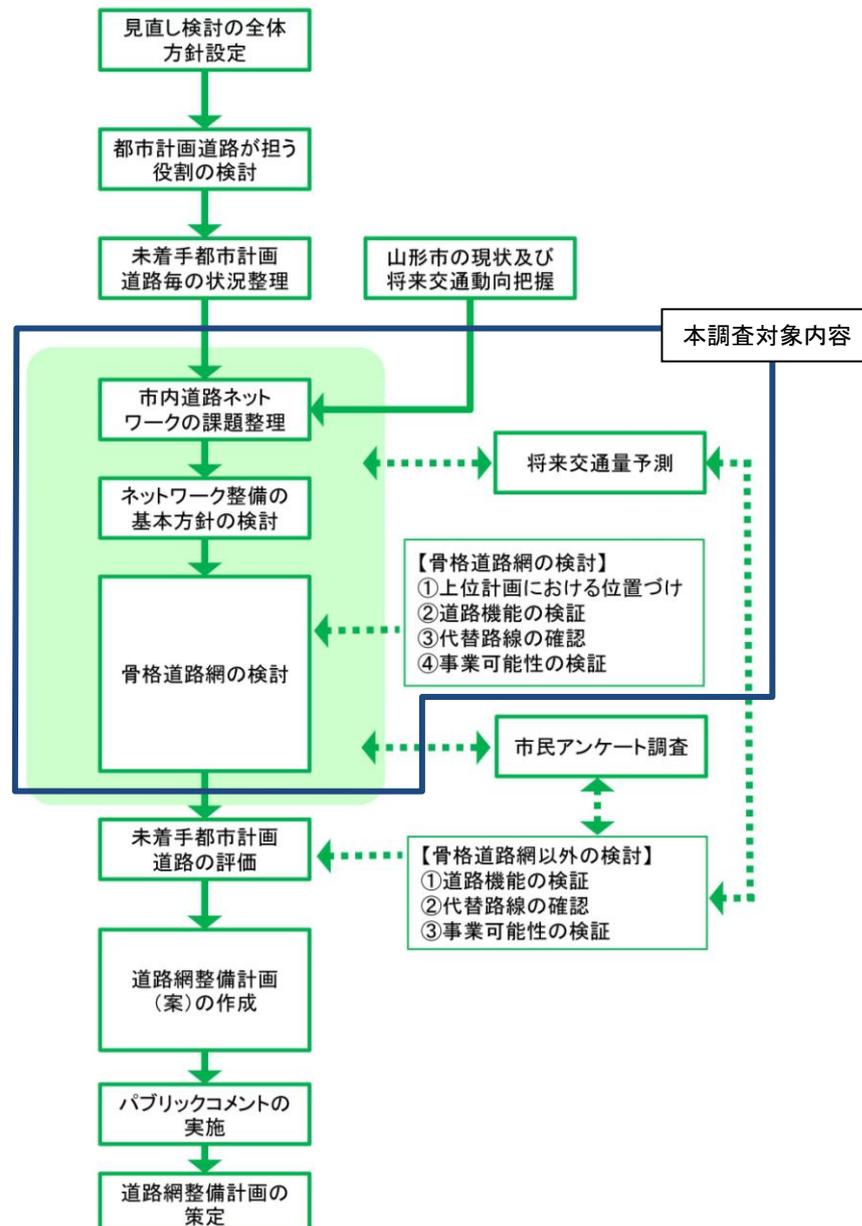
外部検討委員会
学識経験者
東北芸術工科大学吉田朗教授
山形大学山田浩久教授
国土交通省
山形河川国道事務所調査第二課
国土交通省
東北運輸局山形運輸支局
山形県県土整備部都市計画課
山形県県土整備部道路整備課
山形県村山総合支庁都市計画課
山形県村山総合支庁道路課
山形県村山総合支庁建設総務課
山形警察署交通第一課
まちづくり推進部河川道路整備課
まちづくり推進部道路維持課
まちづくり推進部都市政策課

II 調査成果

1 調査目的

本調査は、見直し検討の全体方針の設定、都市計画道路が担う役割や状況の整理、現状及び将来交通動向把握の結果など「平成25年度山形市都市計画道路見直し業務委託」の業務内容に基づき、市内道路ネットワークの課題整理、ネットワーク整備の基本方針の検討、将来交通量予測、骨格道路網計画の検討等を行うものである。

2 調査フロー



3 調査圏域図



4 調査成果

1. 市内道路ネットワークの課題整理

1.1 現状の骨格道路の位置づけ

(1) 山形市都市計画マスタープラン全体構想 (H10)

山形市都市計画マスタープランでは、骨格道路を以下の通り定義づけている。

区分		内容	該当する主な路線
広域幹線道路		広域的な圏域間を連携	東北横断自動車道酒田線 東北中央自動車道 国道 13 号、国道 48 号、国道 112 号、 国道 286 号、国道 348 号
広域都市間 を連携し、 まちづくり の骨格とな る道路	南北軸	広域都市圏内を南北に縦貫し都市圏の都市軸となる	上山山形天童線 (国道 13 号)、 上山山形西天童線
	大環状 道路	南北軸と連携して都市間の交通を分散・誘導するとともに圏域間を連携	大森船町線、樺沢山辺中山線、 上山山形天童線 (国道 13 号) ほか
	外環状 道路	市街地内交通の骨格となる	天童船洗線、上山山形西天童線、 東山形長谷道線 (国道 286 号、国道 348 号)、上山山形天童線 (国道 13 号)
中心市街地 の商業・業 務機能を支 える道路	都心 リング	七日町周辺～十日町周辺の伝統的商業・業務地を支える	双月志戸田線、諏訪町七日町線、 旅籠町八日町線、山形停車場松波線
	駅環状 道路	山形駅周辺の連携を強化する	東原村木沢線、旅籠町八日町線、 十日町双葉線、南追手前南館線、 (仮称) 三日町上町線
都心直結道路		大環状道路や外環状道路から都心リング、駅環状道路へ結び、市街地周辺と都心地区を直結するとともに、高速交通網へのアクセス性を高める	双月志戸田線、山形停車場松波線、 東原村木沢線、薬師堂上桜田線、 山形停車場医学部線、美畑天童線、 旅籠町千歳橋線
集落間を結ぶ道路		圏域内の集落間を結び、上記の骨格道路と連携する幹線道路	国道 286 号線、国道 348 号線、国道 458 号線、天童船洗線、山形山寺線、妙見寺西 蔵王公園線、山形永野線、山形白鷹線、山 形朝日線、蔵王公園線、村山東部地区広域 営農団地農道 (市道東部広域環状線)、城 北天童線

図 都市計画マスタープランにおける骨格道路の区分

(「山形市都市計画マスタープラン全体構想」H10.10 策定より)

(2) 山形県広域都市計画

「山形広域都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」(H24.8)において、交通体系計画の方針として、①広域交通ネットワーク機能の強化と各市街地との連携強化、②既成市街地を中心に安全性・利便性の高いネットワークづくり、③交通施設の整備においては地域に合った道づくりを掲げている。

1.2 交通量推計

市内の主要道路網（都市計画道路以外の主要な道路を含む）について、将来交通量配分実施に必要な現況データ作成、現況再現、将来データ作成を行い、以下に示す時点において、各1ケースの交通量配分を行った。

- ・現況：H22（H17 センサス OD（第二段階 OD）を用いた H22 センサスによる現況再現の確認）
- ・将来：H47（山形市都市計画マスタープランの計画年次（H46 年度）と合わせる。）
将来交通量推計（H47）については、現況再現結果を基に以下の条件で H47 年時点の将来交通量を推計した。

推計年次	: H47 年
O D	: H17 道路交通センサス（H420D 表）を基に H470D を算出
ネットワーク	: 都市計画道路網完成時

1.3 現状および将来交通動向把握結果に基づく課題整理

本業務における交通量推計結果から、市内道路ネットワークの課題を整理した。

2. ネットワーク整備の基本方針の検討

上記までの調査結果から、関連する整備計画との整合に配慮し、山形市の道路ネットワーク整備の基本方針を検討した。

3. 骨格道路網計画の検討

交通量推計の結果や市内道路ネットワークの課題、道路ネットワーク整備の基本方針を踏まえ、骨格道路網計画の検討を行った。

※なお、今回調査を実施した交通量推計及び骨格道路網の検討内容等については、計画策定の途中段階であり現段階で公開することができないため、非公開とします。